

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場会社名 青山商事株式会社
 コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長 (氏名) 青山 理
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員企画管理本部長 (氏名) 宮武 真人
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日 配当支払開始予定日 平成20年11月28日

上場取引所 東 大

TEL 084-920-0050

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	91,707	—	5,181	—	7,632	—	2,752	—
20年3月期第2四半期	94,779	0.4	7,715	5.1	8,336	△2.5	3,400	△14.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	43.29	43.29
20年3月期第2四半期	52.95	52.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	315,064	220,056	69.3	3,433.73
20年3月期	325,469	219,654	67.0	3,427.84

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 218,328百万円 20年3月期 217,939百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
21年3月期	—	20.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	206,100	△3.9	17,200	△27.6	20,200	△2.1	9,400	20.3	147.84

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 [(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 67,394,016株 20年3月期 67,394,016株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 3,810,593株 20年3月期 3,814,618株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 63,582,507株 20年3月期第2四半期 64,218,867株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参考ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「参考」個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	167,500	△3.2	14,100	△30.6	17,700	△0.5	8,300	41.8	130	54

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

《セグメント別の概況》

	売上高				営業利益			
	当期	前期	増減額	伸率(%)	当期	前期	増減額	伸率(%)
紳士服販売事業	75,020	77,063	△2,042	△2.7	3,544	5,768	△2,224	△38.6
カード事業	3,958	4,798	△839	△17.5	1,131	1,265	△133	△10.6
商業印刷事業	4,921	4,576	344	7.5	△37	72	△109	△151.2
雑貨販売事業	9,355	9,912	△557	△5.6	280	317	△36	△11.5
消去又は全社	(1,548)	(1,571)	23	—	261	291	△29	—
合計	91,707	94,779	△3,072	△3.2	5,181	7,715	△2,534	△32.8

(1) 紳士服販売事業〔青山商事(株)、カジュアルランドあおやま(株)、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商〕

① 青山商事(株)につきましては、米国におけるサブプライムローン問題に端を発する国際的な金融不安や生活必需品の値上げ、社会保障に対する将来不安などにより消費者マインドが冷え込み、さらに第1四半期において例年に比べ気温が低く推移するなど天候不順等もあり、夏物商品を中心に芳しくありませんでした。こうしたことから、第2四半期まで(4月～9月)の既存店売上高は前年同期比95.3%となりました。

なお、4月から9月までの6ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比95.0%の1,075千着となりました。

店舗につきましては、第2四半期まで(4月～9月)に「洋服の青山」において10店舗を出店(内7店舗移転)し、非効率な3店舗を閉店いたしました。また、「ザ・スーツカンパニー」において1店舗を出店いたしました。なお平成20年9月末の店舗数は巻末の参考資料をご参照ください。

＜スーツ事業の既存店売上・客数・客単価の前年同期比推移＞ (単位：%)

	平成18年9月期	平成19年9月期	平成20年9月期
売上	103.2	101.1	95.3
客数	100.9	98.3	96.7
客単価	102.3	102.9	98.6

＜メンズスーツの販売着数並びに平均販売単価推移＞

	平成18年9月期	平成19年9月期	平成20年9月期
販売着数(千着)	1,082	1,132	1,075
平均販売単価(円)	25,035	25,135	25,363

② カジュアルランドあおやま(株)につきましては、第2四半期まで(4月～9月)の既存店売上高は前年同期比98.6%となりました。

店舗につきましては、第2四半期まで(4月～9月)に非効率な5店舗を閉店いたしましたので、平成20年9月末の店舗数は46店舗となりました。

＜キャラジャ事業の既存店売上・客数・客単価の前年同期比推移＞ (単位：%)

	平成18年9月期	平成19年9月期	平成20年9月期
売上	91.5	78.2	98.6
客数	85.7	79.1	96.1
客単価	106.8	98.8	102.6

③ こうしたことから、紳士服販売事業の売上高は750億20百万円、第2四半期まで(4月～9月)の既存店売上高は前年同期比95.4%となり、また、営業利益は35億44百万円となりました。

④ 「包括的長期為替予約契約(クーポンスワップ契約)」等に係るデリバティブ評価損益(時価会計による為替予約等の評価損益)につきましては、平成20年3月末に比べて為替が円安になったことなどにより、営業外収益として16億72百万円を計上いたしました。

⑤ 特別損益では、青山商事(株)において、減損損失として16億35百万円、また店舗の閉店・移転・建替に伴う固定資産除売却損として5億87百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) その他事業

- ① カード事業につきましては、改正貸金業法等の影響がある中、売上高39億58百万円、営業利益11億31百万円となりました。

なお、平成20年8月末現在の「AOYAMAカード」の有効会員数は353万人となりました。

<カード事業におけるAOYAMAカード有効会員数並びに営業貸付金残高の推移>

	平成19年8月期	平成20年2月期	平成20年8月期
有効会員数(万人)	341	350	353
営業貸付金残高(百万円)	62,639	62,419	59,499

- ② 商業印刷事業につきましては、原材料価格の高騰による印刷用紙の値上がりや受注競争の激化に伴う受注単価の下落に加え新規事業への先行投資により、売上高49億21百万円、営業損失37百万円となりました。

- ③ 雑貨販売事業につきましては、他業態からの参入など業界の競争が一層苛烈さを増す中、商品施策の見直しなどにより、売上高93億55百万円、営業利益2億80百万円となりました。

店舗につきましては、非効率な9店舗を閉店いたしましたので、平成20年8月末の店舗数は137店舗となりました。

なお、上記の事業別売上高、営業利益はグループ内相殺前の数値であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産について流動資産は、1,570億45百万円（前期末比129億84百万円減）となりました。これは主として、現金及び預金が63億28百万円、受取手形及び売掛金が48億23百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は、1,580億19百万円（前期末比25億78百万円増）となりました。これは主として、有形固定資産が41億52百万円増加したことによるものです。

この結果、資産合計は、3,150億64百万円（前期末比104億5百万円減）となりました。

負債について流動負債は、499億28百万円（前期末比107億44百万円減）となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が29億94百万円、未払法人税等が41億4百万円、それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は、ほぼ横ばいの450億79百万円（前期末比62百万円減）となりました。

この結果、負債合計は、950億7百万円（前期末比108億7百万円減）となりました。

純資産合計については、2,200億56百万円（前期末比4億2百万円増）となりました。これは主として、利益剰余金が6億32百万円増加したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

<個別業績予想>

下期も引き続き、出店、移転・建替や店舗のリニューアルなどによって、マーケットシェアの拡大を図ってまいります。一方で景気の先行き不安や社会保障に対する将来不安などにより、消費者の購買態度は一層慎重になることが予想されます。

こうしたことから、下期の既存店売上高は前年同期比94.0%（前回予想は前年同期比100.5%）と前回予想を大幅に下回らざるを得ないと考えております。また、各利益においても売上高が減少することなどから、前回予想を下回る見込みであります。

この結果、通期の業績は、売上高1,675億円、営業利益141億円、経常利益177億円、当期純利益83億円と予想しております。

<連結業績予想>

その他の事業につきましては、事業ごとに業績のバラつきはあるものの、利益において前回予想を若干上回る見込みであります。個別業績の下方修正により連結業績予想は、前回予想を下回る見込みであります。

この結果、通期の連結業績は、売上高2,061億円、営業利益172億円、経常利益202億円、当期純利益94億円と予想しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
- ① 簡便な会計処理
一般債権の貸倒見積高の算定方法
当第 2 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる為、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
- ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理
税金費用の計算
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法を採用しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年 3 月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年 3 月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成 5 年 6 月17日 最終改正平成19年 3 月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年 3 月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第 1 四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。
また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとして算定する方法によっております。
なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。
当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。
- ③ 「棚卸資産の評価に対する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号)を第 1 四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。
なお、当該会計方針を適用すべき会計事象が存在しないため、当該変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,272	25,600
受取手形及び売掛金	6,189	11,012
有価証券	17,999	21,993
商品	43,792	39,653
製品	50	43
原材料	116	93
仕掛品	81	71
営業貸付金	59,499	62,419
その他	10,949	10,015
貸倒引当金	△906	△875
流動資産合計	157,045	170,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	112,516	112,261
減価償却累計額	△56,358	△55,307
建物及び構築物(純額)	56,157	56,953
その他	49,318	45,032
減価償却累計額	△8,847	△9,510
その他(純額)	40,470	35,522
有形固定資産合計	96,628	92,476
無形固定資産	1,680	1,551
投資その他の資産		
敷金及び保証金	31,554	32,552
その他	28,233	28,969
貸倒引当金	△77	△107
投資その他の資産合計	59,709	61,413
固定資産合計	158,019	155,440
資産合計	315,064	325,469

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,459	19,453
短期借入金	4,010	4,260
未払法人税等	2,681	6,785
賞与引当金	1,325	1,294
その他	25,452	28,878
流動負債合計	49,928	60,673
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	15,845	16,025
退職給付引当金	3,165	3,058
ポイント引当金	2,864	2,986
その他	3,204	3,072
固定負債合計	45,079	45,141
負債合計	95,007	105,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,976	62,974
利益剰余金	123,318	122,685
自己株式	△12,245	△12,250
株主資本合計	236,554	235,914
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△460	△24
繰延ヘッジ損益	△25	—
土地再評価差額金	△17,739	△17,950
評価・換算差額等合計	△18,226	△17,974
新株予約権	106	82
少数株主持分	1,622	1,632
純資産合計	220,056	219,654
負債純資産合計	315,064	325,469

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	91,707
売上原価	40,719
売上総利益	50,988
販売費及び一般管理費	45,807
営業利益	5,181
営業外収益	
受取利息	223
受取配当金	93
デリバティブ評価益	1,672
その他	548
営業外収益合計	2,538
営業外費用	
支払利息	61
その他	25
営業外費用合計	86
経常利益	7,632
特別利益	
固定資産売却益	5
特別利益合計	5
特別損失	
減損損失	1,734
固定資産除売却損	618
投資有価証券評価損	5
特別損失合計	2,357
税金等調整前四半期純利益	5,280
法人税等	2,465
少数株主利益	61
四半期純利益	2,752

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

1. 前中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高		94,779 100.0
II 売上原価		41,185 43.5
売上総利益		53,594 56.5
III 販売費及び 一般管理費		45,878 48.4
営業利益		7,715 8.1
IV 営業外収益		
1 受取利息	270	
2 受取配当金	100	
3 不動産賃貸収入	175	
4 デリバティブ 評価益	—	
5 その他	246	793 0.8
V 営業外費用		
1 支払利息	70	
2 デリバティブ 評価損失	45	
3 解約損害金	—	
4 その他	57	173 0.1
経常利益		8,336 8.8
VI 特別利益		
固定資産売却益	1	1 0.0
VII 特別損失		
1 固定資産除却 ・売却損	353	
2 減損損失	1,501	
3 関係会社出資金 評価損	—	
4 関係会社出資金 売却損	—	
5 投資有価証券 評価損	4	
6 貸倒引当金繰入額	—	1,859 2.0
税金等調整前 中間(当期)純利益		6,478 6.8
法人税、住民税 及び事業税	3,141	
法人税等調整額	△147	2,993 3.2
少数株主利益		84 0.0
中間(当期)純利益		3,400 3.6

2. 四半期財務諸表

- (1) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビューの対象ではありません。
- (2) 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年 3 月14日 企業会計基準第12号) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年 3 月14日 企業会計基準適用指針第14号) を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期報告書を作成しております。

① 四半期貸借対照表

区分	当第 2 四半期会計期間末 (平成20年 9 月30日)		前事業年度末に係る 貸借対照表 (平成20年 3 月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金		11,083		17,321
2 受取手形及び売掛金		3,841		8,697
3 有価証券		17,999		21,993
4 商品		39,745		35,383
5 貯蔵品		264		256
6 関係会社短期貸付金		32,000		35,000
7 その他		7,859		7,430
貸倒引当金		△1		△4
流動資産合計		112,792	41.5	126,077
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物	89,716		89,444	
減価償却累計額	△46,059	43,657	△44,990	44,453
(2) 土地		29,886		28,182
(3) その他	36,404		32,162	
減価償却累計額	△17,748	18,655	△16,811	15,351
有形固定資産合計		92,199		87,986
2 無形固定資産		1,338		1,246
3 投資その他の資産				
(1) 敷金及び保証金		30,767		31,758
(2) その他		34,707		35,364
貸倒引当金		△66		△94
投資その他の資産合計		65,407		67,028
固定資産合計		158,945	58.5	156,262
資産合計		271,738	100.0	282,339

区分	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	13,255		15,530	
2 未払法人税等	2,008		6,040	
3 賞与引当金	1,153		1,122	
4 その他	25,063		29,293	
流動負債合計	41,481	15.3	51,987	18.4
II 固定負債				
1 長期借入金	10,000		10,000	
2 退職給付引当金	3,023		2,927	
3 ポイント引当金	2,864		2,986	
4 その他	2,861		2,798	
固定負債合計	18,748	6.9	18,712	6.6
負債合計	60,229	22.2	70,699	25.0
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	62,504		62,504	
2 資本剰余金	62,976		62,974	
3 利益剰余金	116,208		116,122	
4 自己株式	△12,245		△12,250	
株主資本合計	229,444	84.4	229,350	81.3
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券 評価差額金	△459		△24	
2 土地再評価差額金	△17,556		△17,768	
3 繰延ヘッジ損失	△25		—	
評価・換算差額等合計	△18,041	△6.6	△17,792	△6.3
III 新株予約権	106	0.0	82	0.0
純資産合計	211,508	77.8	211,640	75.0
負債純資産合計	271,738	100.0	282,339	100.0

② 四半期損益計算書

区分	当第 2 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)		百分比 (%)
	金額(百万円)		
I 売上高		72,309	100.0
II 売上原価		29,809	41.2
売上総利益		42,500	58.7
III 販売費及び一般管理費		39,050	54.0
営業利益		3,450	4.7
IV 営業外収益			
1 受取利息配当金	525		
2 不動産賃借料	239		
3 デリバティブ評価益	1,665		
4 その他	347	2,778	3.8
V 営業外費用			
1 支払利息	38		
2 その他	5	43	0.0
経常利益		6,184	8.5
VI 特別利益			
1 固定資産売却益	4		
2 貸倒引当金戻入	4	9	0.0
VII 特別損失			
1 減損損失	1,635		
2 固定資産除売却損	587	2,223	3.0
税金等調整前四半期純利益		3,970	5.4
法人税等		1,765	2.4
四半期純利益		2,205	3.0

3. スーツ事業の商品別売上高

(単位：百万円)

		前中間会計期間		当第2四半期 累計期間		前事業年度	
		自 平成19年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日		自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日		自 平成19年 4 月 1 日 至 平成20年 3 月 31 日	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
			%		%		%
重衣料	スーツ・スリーピース	29,262	39.4	28,332	39.2	70,760	40.9
	ジャケット	3,371	4.5	3,177	4.4	7,082	4.1
	スラックス	4,607	6.2	4,422	6.1	8,191	4.7
	コート	92	0.1	93	0.1	5,297	3.1
	礼服	10,733	14.5	10,208	14.1	21,152	12.2
	小 計	48,065	64.7	46,234	63.9	112,483	65.0
軽衣料	シャツ・洋品類	12,700	17.1	12,096	16.7	27,061	15.6
	カジュアル類	3,896	5.3	3,718	5.1	8,150	4.7
	その他商品	7,078	9.5	7,712	10.7	19,497	11.3
	小 計	23,676	31.9	23,528	32.5	54,710	31.6
ポイント還元額		1,204	1.6	1,267	1.8	2,840	1.6
補正加工賃		1,338	1.8	1,279	1.8	3,024	1.8
合 計		74,284	100.0	72,309	100.0	173,059	100.0

(注) 「その他商品」は、靴・肌着・雑貨・レディス等であります。

4. スーツ事業の店舗数

(単位：店)

地 域	平成19年9月末 店舗数	平成20年9月末 店舗数	平成20年3月末		平成20年3月末 店舗数
			洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	
北海道	33	34	32	2	33
北海道地方計	33	34	32	2	33
青森県	9	9	9	0	9
岩手県	9	8	8	0	8
宮城県	12	13	12	1	13
秋田県	10	9	9	0	10
山形県	9	9	9	0	9
福島県	11	11	11	0	11
東北地方計	60	59	58	1	60
茨城県	20	20	18	2	20
栃木県	11	11	11	0	11
群馬県	15	15	14	1	15
埼玉県	35	35	32	3	35
千葉県	27	26	24	2	26
東京都	74	75	59	16	75
神奈川県	33	36	32	4	34
関東地方計	215	218	190	28	216
新潟県	18	18	17	1	18
富山県	7	7	7	0	7
石川県	9	8	7	1	9
福井県	5	5	5	0	5
山梨県	4	4	4	0	4
長野県	14	14	14	0	14
岐阜県	13	13	12	1	13
静岡県	26	26	25	1	26
愛知県	41	43	41	2	43
中部地方計	137	138	132	6	139
三重県	11	12	11	1	12
滋賀県	10	10	10	0	10
京都府	15	15	14	1	15
大阪府	42	42	40	2	42
兵庫県	38	39	37	2	39
奈良県	9	9	9	0	9
和歌山県	8	8	8	0	8
近畿地方計	133	135	129	6	135

(単位：店)

地 域	平成19年9月末 店舗数	平成20年9月末 店舗数	平成20年3月末 店舗数		
			洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	
鳥取県	3	3	3	0	3
島根県	5	5	5	0	5
岡山県	12	11	10	1	11
広島県	22	22	19	3	22
山口県	11	11	11	0	11
中国地方計	53	52	48	4	52
徳島県	5	5	5	0	5
香川県	7	7	7	0	7
愛媛県	8	8	8	0	8
高知県	5	5	5	0	5
四国地方計	25	25	25	0	25
福岡県	26	29	28	1	28
佐賀県	8	8	8	0	8
長崎県	7	7	7	0	7
熊本県	12	10	10	0	11
大分県	9	9	9	0	9
宮崎県	10	10	10	0	10
鹿児島県	12	12	12	0	12
沖縄県	7	7	7	0	7
九州地方計	91	92	91	1	92
合 計	747	753	705	48	752

(注) 1 「プラスエー・ザ・スーツ・アオヤマ」(平成20年9月末で3店舗(茨城県1店舗、栃木県1店舗、静岡県1店舗))は、「洋服の青山」に含めております。

2 「ユニバーサル ランゲージ」(平成20年9月末で6店舗(北海道1店舗、東京都2店舗、神奈川県2店舗、大阪府1店舗))は、「ザ・スーツカンパニー」に含めております。

3 「ザ・スーツカンパニーズ ウィークエンド」(平成20年9月末で11店舗(茨城県2店舗、群馬県1店舗、埼玉県2店舗、千葉県2店舗、神奈川県1店舗、岐阜県1店舗、愛知県1店舗、三重県1店舗))は、「ザ・スーツカンパニー」に含めております。

4 店舗の出退店等の状況(平成20年4月～9月)

業態	出店	退店	
		内 移転	
洋服の青山	10	7	3
ザ・スーツカンパニー	1	0	0
計	11	7	3